

## 貴生川駅周辺整備基本構想（案）のパブリック・コメントの結果について

意見提出者 7名

意見内容 10項目

※備考のアルファベットは、ご意見をいただいた個人を記しています。

※いただいたご意見等については、趣旨を損なわない範囲で要約しております。

番号	ページ (意見照会時)	計画(案)の 該当箇所	いただいたご意見等	ご意見等に対する市の考え方	修正の 有無	備考
1	全体	—	<p>貴生川駅南側の庚申口付近に「道の駅」を作っていたきたい。</p> <p>この場所は、セブンイレブンの屋根の上を信楽高原鉄道が走っている景色がめずらしく、写真や動画を撮っている人を見かけることや、駅やICからのアクセスも良好です。</p> <p>甲賀市の特産品を売るコーナーや、鉄道を眺めながらゆっくり過ごせるオシャレなカフェ、地産地消の名物グルメやスイーツだけでなく、ここでしか経験できない体験イベント開催なども面白いと思います。</p> <p>道の駅を作る事で、甲賀市のアピールにもなり、たくさんの方に貴生川駅周辺に足を運んでもらえれば街に活気が生まれ、将来的な人口増加にも繋がると思います。</p>	<p>道の駅は、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、道の駅を活用した活力のある地域づくりを行うための「地域連携機能」の3つの機能を備える施設であり、特に近年は「地方創生・観光を加速する施設」及び「防災の拠点」としての役割も期待されているなど、地域を活性化させる有効な事業のひとつとなっております。</p> <p>ご意見をいただいた貴生川駅南側の庚申口交差点周辺は、今回の基本構想の区域外であり、現段階で道の駅としての検討は行いませんが、交通量も多く、集客を見込める魅力あるエリアであると認識しております。</p>	無	A氏
2	全体	—	<p>「貴生川駅周辺特区構想」が令和3年に策定されているにもかかわらず、市議会では水口診療所の廃止に賛成されていて、これは特区構想と相容れないのではないかと。</p> <p>地域医療に貢献している水口診療所を強化し中核として公民館を新築して炊事、食堂、教室各種の習い事やイベントのできるフロアを作り、駅前コミュニティセンターとしてオープンすれば、地域住民の交流により、活性化が図れ、交流拠点となるだろう。</p>	<p>市では、甲賀市医療審議会の答申を受けた後、市議会の議決を経て甲賀市水口医療介護センター条例の全部改正を行っています。今後、みなくち診療所は、併設する現ケアセンターささゆりの施設を含め一体的に指定管理者制度を導入し、令和6年度より新たな診療施設へと移行する予定です。(ケアセンターささゆりは事業廃止予定)</p> <p>また、ご意見をいただいたような地域住民や高齢者が交流するコミュニティセンターへの整備等も含めて広い視野で考え、多くの人が集まる交流拠点となるよう検討してまいります。</p>	無	B氏

番号	ページ (意見照会時)	計画(案)の 該当箇所	いただいたご意見等	ご意見等に対する市の考え方	修正の 有無	備考
3	全体	—	<p>農協の駐車場に、小型のスーパーを誘致もしくはテナントが入れる店舗を誘致してはどうか。そうすることで近隣から買い物客など人が集まり、人が集まることで各種小売店が集まれば自然と活性化されてくるものと思われる。</p> <p>また、飯道山への登山口でもあるため上手く宣伝すれば草津線を利用して他府県からも利用客が増え、交流拠点として発展するのではと思われる。</p>	<p>交流拠点ゾーンにおいては、民間活力の導入を第一に、公的な子育て施設や学習スペース等を加えるなど、全世代が関わる賑わいのあるゾーンとなるよう検討しているところです。</p> <p>また、小型スーパーや小売店等については、民間事業者の採算ベースに乗ることが重要となるため、民間事業者のサウンディング調査等を踏まえ、活性化につながるよう検討してまいります。</p> <p>次に、貴生川駅から飯道山へのルートについては、「飯道山周辺観光ルート整備活用計画」に基づいて継続的に整備を進めております。また、飯道山観光協会では、JRと連携してハイキング等を行うなど、修験道の聖地としての歴史、自然を活かした地域づくりが進むよう取り組んでいただいているところです。飯道山の利用が草津線乗降客数の増加等の活性化につながるよう引き続きご意見を踏まえ検討してまいります。</p>	無	B氏
4	11ページ～ 12ページ	交流拠点ゾーン・柚川活用ゾーン	<p>貴生川駅南側に、駐車場又は駐車スペースのある市民交流センターを整備するとともに、病院、住宅、小型スーパーや道の駅を配置し、柚川河川敷に桜並木や遊歩道を設ける。</p>	<p>貴生川駅南口の交流拠点ゾーン及び柚川活用ゾーンについては、ご意見を参考にしながら、具体的な検討を進めてまいります。</p>	無	C氏
5	11ページ～ 12ページ	交流拠点ゾーン・高度利用促進ゾーン	<p><b>【子ども・子育てを対象とした娯楽施設の提案】</b> 駅前的好立地や通勤通学者、車を持たない方たちを想定した「娯楽施設・子育て支援施設」を設置するのはいかがでしょうか。イメージしているのは「スポッチャ」や「ショッピングモールにある親子遊具エリア」など、少し娯楽寄りに安価で利用できる施設を官民連携で設置することを想定。 そこに学生相談員や子育てコンシェルジュが出張していると、なお良いのではないのでしょうか。</p>	<p>交流拠点ゾーンについては、ご意見いただいているように駅利用者である学生や子育て世代、ビジネス関係の方等が自由に利用できるような官民連携施設の整備を検討しているところです。具体的な導入施設については、民間事業者等と連携しながら検討してまいります。</p> <p>また、市民の皆様が主体となり、駅周辺の賑わいが生み出されていくことに期待しており、それらの具体化についても市民の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。</p>	無	D氏

番号	ページ (意見照会時)	計画(案)の 該当箇所	いただいたご意見等	ご意見等に対する市の考え方	修正の 有無	備考
6	4ページ	全体	ディスカウントストア、バッティングセンター、ボーリング場、ファーストフードなどの若い世代に喜んでいただける施設を建てて欲しいです	具体の導入施設については、ご意見を参考に民間事業者と連携しながら検討してまいります。	無	E氏
7	1ページ	1.はじめに	貴生川駅周辺特区構想アクションプランの民間活力誘導エリアの半径800メートルから1.500メートルに規模を拡大にしてもらいたいです。	貴生川駅周辺特区構想アクションプランの民間活力誘導エリアは、人口減少が続く局面において、各拠点への都市機能や居住の集積を誘導するエリアです。設定区域については、甲賀市立地適正化計画に基づき、貴生川駅から一般的な徒歩圏(「都市構造の評価に関するハンドブック」)である半径800mとしております。	無	F氏
8	5ページ  8ページ  11ページ	3.地区の現状と課題 (5)貴生川駅周辺の主な課題 4.まちづくりの基本的な方向(4)整備の基本的な方針 5.まちづくり方針	民間企業やUR都市機構のアイデア、知恵、経験などを取り入れ、最大限に活用して進めてもらいたい。 開発規模について、当初は半径800メートルでしたが、縮小して、400メートルになっている。拡大するどころか、縮小しているのではないか。	本基本構想は、貴生川駅周辺の整備の基本的な考え方を示し、官民連携による持続的なまちづくりを推進するもので、市民や各種団体、学識経験者、UR都市機構が参画した「貴生川エリアプラットフォーム」での議論等を踏まえて策定しております。 また、本基本構想は、貴生川駅周辺特区構想の一部である「貴生川駅周辺整備事業」を具体化及び深化したものであり、全体の開発規模を変更したものではありません。 今後の具体的な計画策定や実現に当たっては、ご意見いただいたとおり、民間のノウハウを最大限取り入れながら、オール甲賀の取り組みとして進めてまいります。	無	F氏
9	6ページ	3.地区の現状と課題 (6)貴生川駅周辺の地域資源	本構想は「具体的な交流の場」「高齢者が快適に過ごせる場所」の視点が欠如している。 貴生川駅の現状は色々な交通機関結節点などはあるが、そこから交流の場は提供されていない。	ご意見のとおり、これまでの貴生川駅は交通結節点になっているが、交流の場がなかったことから、本基本構想においては、駅南口に地域の高齢者や子育て世帯、単身者、さらには駅利用者が活動を展開し、交流し、楽しむことができる「交流拠点ゾーン」を設定し、整備することとしております。 具体的な内容については、ご意見を参考にしながら、市民の皆様や専門家等と議論を重ね検討してまいります。	無	G氏

番号	ページ (意見照会時)	計画(案)の 該当箇所	いただいたご意見等	ご意見等に対する市の考え方	修正の 有無	備考
10	7ページ	4. まちづくりの基本的な方向性	<p>国交省がコンパクトシティという考え方を示している中で、甲賀市は車文化の波に乗って京都、大阪等の大都市の空洞化の一翼を担っていたことが分かる。貴生川駅が結節点であっても交流点になりえないのは、それへの配慮が足りないからであり、甲賀流コンパクトシティを提案する。</p> <p>まず高齢者で車の免許返納すべき者、返納しなくてもできるだけ長距離・夜間運転を控えるべき者、を対象にして甲賀市全体としての機能を貴生川駅周辺地域に持たせる。</p> <p>具体的には、</p> <p>1：貴生川駅周辺部に居住誘導機能、都市機能誘導機能（商店街のみ）構築する。 居住誘導機能は&lt;低価格前泊設備&gt;を利用した甲賀市周辺現住高齢者が車なし生活可能とする。</p> <p>都市機能誘導としては、前泊設備から徒歩で行ける範囲に商店街を作る。若い人たちを呼び込む手段として周辺に駐車場を作っても良い。（アウトレット中に貴生川駅がある）</p> <p>2：車離れをしている都会の若者に定期的な前泊経験（例えば土日毎）をしてもらって、観光・農園体験の足がかりとしてもらう。やがて甲賀市民としての意識を持ってもらう。</p> <p>3：低価格前泊施設等 簡易宿泊設備（できれば定期使用） 自転車のレンタルと自転車専用道（キックボード7月法制化も使える） 医療機関、スーパー等の都市機能は3km程度離れているのでレンタサイクルが有効。</p>	<p>本基本構想は、貴生川駅周辺の整備の基本的な考え方を示すことを目的としており、「具体的な交流の場」「高齢者が快適に過ごせる場所」については、ご意見を参考にしながら、市民の皆様や専門家等と議論を重ね検討してまいります。</p> <p>《具体的な提案について》</p> <p>1. 民間事業者へのヒアリングでは、駅周辺での宿泊施設の需要は少ない状況ですが、駅前を拠点として徒歩範囲で小売店を誘致するなどご意見を参考に検討してまいります。</p> <p>2. 市外の若者に本市の魅力を知ってもらうため、空き家を活用した「お試し暮らし」を鉄道事業者と協力し進めているところです。</p> <p>3. 本基本構想では、計画区域に既存店舗・住宅ゾーン、居住ゾーンを設定しておりますが、公共主体で宿泊を伴う施設の整備にかかる検討は行いません。しかし、官民連携で事業を進めるうえで宿泊施設を含め、広く民間事業者に対しヒアリングを行いたいと考えているところです。 また、歩行者・自転車専用道についてもご意見を参考に検討してまいります。</p>	無	G氏